

Contents:

1. 症例登録状況
2. 介入の進捗状況(2回目のフォロー訪問の報告)
3. 全参加施設会議の報告
4. 第二回心理士向け研修会の報告
5. 施設紹介
6. SPRAT同僚評価表に関する研究発表の報告

1. 症例登録状況

11月21日現在の症例登録数は2388人となりました。皆様のご協力、誠にありがとうございます。(右図)。

一方で、8月より評価を開始しております修正1歳半の登録数は12月12日現在で、25例でした。

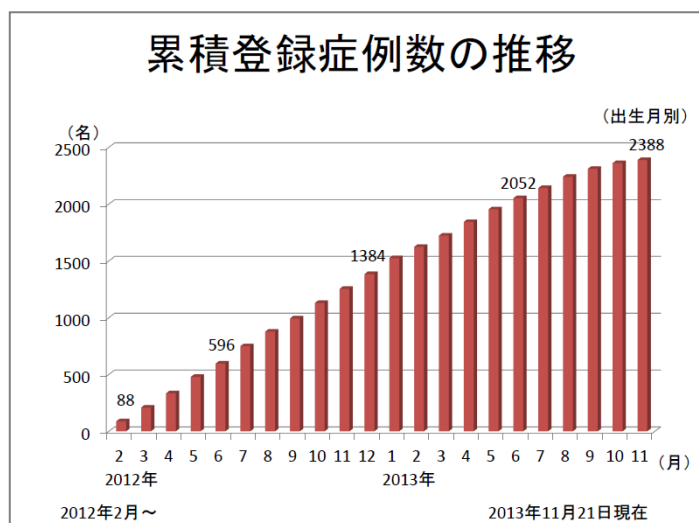


図. 出生月別INTACT対象登録患者数の推移

2. 介入の進捗状況(2回目のフォロー訪問の報告)

2013年9月18日～10月31日まで、介入施設群19施設のフォロー訪問を行いました(下図)。訪問内容は、後期介入に活かすことを念頭に置き、病棟見学や進捗状況の確認、本部からの話題提供など2-3時間で終わらせるものになりました。多忙な日常業務の中での質改善活動は大変なご苦労があったと思いますが、皆様、「やってよかった」とおっしゃっていただきました。



図. 名古屋第二赤十字病院のフォロー訪問の様子



図. 埼玉医科大学総合医療センターのフォロー訪問の様子

3. 全参加施設会議の報告

2013年12月1日に金沢において、全参加施設会議が行われました。研究全体の進捗状況および目標症例数の再検討(2400→2800名へ変更)、後期介入について、本部から報告がありました。アウトカム評価班から、フォローアップのQ&Aの報告がありました。

4. 第2回心理士向け研修会の報告

本年8月より修正1歳半の評価がすでに始まっております。
昨年度に引き続き、2013年12月8日、東京にて第2回心理士向け研修会が開催されました。修正1歳半での評価を中心とした研修会でした。参加者は50名で、アウトカム評価について共通認識できたのではないかと思います。



図. 第2回心理士向け研修会

6. 施設紹介(公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院)

規模 NICU 12床、GCU 6床

施設の特徴

大阪府には総合周産期母子医療センターが6施設、地域周産期母子医療センターが当院を含めて18施設あります。それぞれの施設が特色を活かして診療をしておられますが、当院の特徴は院外出生児の受け入れが多いことだと思います。平成23年度は入院300例に対して、院外出生児は104例ありました。今後も症例の受け入れだけでなく、出張蘇生講習会や症例経過をフィードバックする講演会などを通じて、地域の産科開業医との連携を大切にしたいと考えています。NICUの診療においては、“原因不明”のまま、何となく軽快するような経過で終わらせることなく、確定診断をつけて最適な治療を選択することを心がけています。非常に稀な症例について、学会発表も精力的におこなっています。現在、NICU診療に携わる医師は5名で、うち3名は後期研修医のローテーションです。一般小児科医にも必要な新生児医療の素養を学ぶという点においても、院外出生児の受け入れは重要と考えています。

NICUの看護師数は30名ですが、若手が多く後輩の育成に力を入れています。今回、INTACTに参加することで当院の治療について医師と話し合いチームワークを深めることができました。高知医療センター・高槻病院との施設協力では、施設を越えたネットワークができ、他施設と交流をもつ機会が少ない看護師にとっては気軽に相談をさせていただくなど本当に貴重な機会となりました。



図. 北野病院のワークショップ風景(2012/2/21)

研究に参加した動機

ある日の朝、「●●ちゃんがお座りしてる！！」の声で皆集まってきました。ついでに記念撮影(^o^)(右図)。

当院は極低出生体重児の入院数が年間20例程度と多くはありません。このプロジェクトに参加させていただいた動機は、「たとえ数は少なくとも、私達はどこに出しても恥ずかしくない診療を行っている」という自信をもてるきっかけになればと考えたことです。これまでに診療した症例の振り返りや、当院へのご訪問、他施設の見学などを通じて、様々な行動改善のきっかけを与えていただいたと感謝しております。これからもよろしくお願いいたします。

水本 洋



図. ある日の朝、「●●ちゃんがお座りしてる！！」の声で皆集まってきました。ついでに記念撮影(^o^)

6. SPRAT同僚評価表に関する研究発表の報告

研究参加施設の医師の方に評価をお願いしているSPRAT同僚評価表に関する研究発表のご報告です。

第58回日本未熟児新生児学会(12月2日)で演題「SPRAT(シェフィールド同僚評価表)による新生児科医の診療スキル評価」を発表しました。介入群施設と対照群施設の介入前と介入後(2回目の調査)について、診療スキルの現状と介入による効果を検討しました。

※SPRAT同僚評価表に関しては、フィードバックを希望されない施設もありますので、施設別に評価結果をご報告することはしていません。ご希望の施設に関しては、個別に評価結果をご報告させていただきます。集計方法(個人単位・施設単位、あるいは両方)、院内での報告方法(施設長が一括して個人に伝えるのか?第三者である支援室を通して個人に伝えるのか?)等をご検討の上、支援室までご連絡いただけますと幸いです。

来年の1月17～18日にシンガポールで開催される第11回 アジア・パシフィック医学教育学会で、演題「The Utility Of The Japanese Version Of The Sheffield Peer Review Assessment Tool (SPRAT)/SPRAT(シェフィールド同僚評価表)日本語訳妥当性の検証」を発表することになりました(BEST ABSTRACT FOR POSTER PRESENTATIONに選んでいただきました)。

担当:支援室 佐々木八十子



《事務連絡》

◎次回班会議は2014年2月1日に東京で予定しております。

◎後期介入のための研修会は2014年2月2日、東京で予定しております。

◎後期介入のワークショップは2014年5月以降を予定しております。内容の詳細は未定です。

◎データクリーニングを順次、お願いしておりますので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

◎施設資源、組織のアンケート調査がまもなく始まりますので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

三ツ橋偉子、西田俊彦、佐々木八十子、松田直子
東京女子医科大学母子総合医療センター
周産期研究事業支援室

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

WEB : <http://www.nicu-intact.org>

TEL/FAX : 03-5269-7444(直通)

official MAIL : nicu-intact.ae@twmu.ac.jp